

平成29年度 東京都立芝商業高等学校 学校経営計画

平成29年4月1日
校長 決定

I 目指す学校像

本校は、ビジネス教育を核とした教育活動を通してグローバル化する社会環境の中で、自立することのできる人材の育成を使命とし、人権尊重・社会貢献の精神を育み、勤労意欲に溢れ、正しい職業観と社会性を持った人間を育成する。

この使命を達成するため、次のような学校づくりを推進する。

- 基礎学力を身につけ、国際社会に通用する「英語」「会計」「ICT」をツールとして活用できる生徒の育成。
- 激変する社会を学ばせ、生徒一人一人に明確な将来目標を持った学習と学校生活、進路活動を支援し、実践的学習を通じた、社会人の基礎力育成に強い学校。
- 生徒が目標を持って主体的に学び、特別活動や部活動等の学校生活に自ら意欲を持って取り組み、人間関係を構築しながら相互に人格を尊重できる品位を持った明るい活発な学校。
- 目標や情報の共有化、学校経営の透明化を図り、モチベーションとモラルの高い学校。

II 中期的目標と方策

	中 期 的 目 標	方 策 等
1 学 習	<p>(1) 基礎学力向上</p> <p>(2) ビジネス教育 都立高校改革推進計画・新実施計画(H28.2)に基づく商業教育検討委員会報告(H29.2)を受けた先行取り組みの推進</p> <p>(3) コミュニケーションツールとして使える英語の学びを推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学力診断による学力把握、向上策の推進 ・教科会の組織運営による授業力向上と学力スタンダードの活用 ・「ビジネス基礎」に東京のビジネスを取り入れた地域経済を踏まえた実践的な学習を実施 ・市場調査や商品企画等の専門知識を学びP D C Aを踏まえた提案型学習のための「ビジネスアイデア」を構築 ・簿記会計・I T・流通の各分野の専門性向上と総合的・体験的学習体系を構築 ・各種検定取得を手段として活用 ・全商及びS t e p英検の活用 ・英語による生活体験や学びの機会を提供
2 生 活 ・ 進 路	<p>(1) 人権尊重・社会貢献の精神を育成し他者を Respect する心を滋養</p> <p>(2) 公共性と社会規範意識の育成</p> <p>(3) 実社会で活躍することを見据えたキャリア教育の推進</p> <p>(4) 健康づくりと体力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、インターンシップ、地域連携活動等を意図的・計画的に実施 ・特別支援教育の共通理解と推進 ・いじめ、体罰の根絶を徹底する環境醸成 ・社会人としての公共性と社会規範意識を通年の行事等で計画的・意図的に育成 ・早期からの進路意識啓発の取り組み ・社会人基礎力としてのマナー指導推進 ・全校体制での就職・進学指導の推進 ・健康的な生活習慣の確立の指導強化 ・体力テストの活用

<p style="text-align: center;">3</p> <p style="text-align: center;">学 校 経 営 そ の 他</p>	<p>(1) 生徒・保護者・地域等からの厚い信頼と、意欲ある生徒の獲得</p> <p>(2) 明るく開かれた、品位ある学校風土の醸成</p> <p>(3) 学校経営の透明性と共有による運営体制の構築</p> <p>(4) 高い危機管理意識とモラルを有する教職員集団、人材の育成</p> <p>(5) 自律推進予算編成と有効な執行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの充実とトピックス情報の適時発信 ・学校の特色を明示 ・中学校生徒・保護者等への効果的広報 ・生徒の授業評価、学校評の活用 ・中学校、大学、地域との連携活動の推進 ・各会議や委員会等の会議時間を必要最少に精選し、情報の共有・周知等をスピーディーに行える体制を構築 ・個人情報等、学校保有財産の厳守体制構築 ・服務規律の徹底と事故0(ゼロ)の継続 ・防災意識と訓練、シミュレーション強化 ・OJTによる人材育成の校内研修推進 ・経営企画室の経営参画により特色ある教育活動の裏づけとなる、有効な予算計画、編成と執行
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Ⅲ 今年度の取組目標と方策

1 教育活動の目標と方策

(1) 学習指導

- ① 基礎学力向上のため、数学、簿記、財務会計について習熟度別少人数授業を実施する。また、発展的学習のため補習・講習を行っていく。
- ② 教科会の充実により各標準到達度と最低到達度を明示した学力スタンダードを活用する。
- ③ 商業教育検討委員会報告(H29.2)に基づく新教育課程の先行実施校として、企業等との連携による調査研究、企画立案、プレゼンテーション等の実習を充実させると共に、進路を踏まえた手段としての検定取得を教科会主導で組織的に支援する。
- ④ 生徒の学力状況を全校で共有し、教科内、教科相互の授業参観・研究により生徒・保護者の授業への満足度と信頼を高める授業改善に取り組む。

(2) 進路指導

- ① 社会人育成に強い本校独自の3年間の進路指導計画を進路指導部中心に作成し、全校体制での推進により生徒の進路実現を図る。
- ② 進路集会、企業・大学の見学と研究、就職懇談会、進路講話、保護者向け進路説明会、インターンシップ等の実施により、職業観・勤労観と共にキャリア形成を図る。
- ③ 生徒の将来目標実現に必要な各模試、検定・資格取得、受験講習等の指導を充実させる。

(3) 生活指導

- ① 生徒の基本的な生活習慣確立と社会人育成の一環を担うマナー指導を推進し、品位と公共性ある芝商生を育成するため生活指導部中心に全校体制で指導に臨む。
- ② 身だしなみ、挨拶、時間厳守の習慣を身に付けさせて、TPO(Time Place Occasion)を踏まえた社会人を育成する。そのため毎月1回、全校での服装指導、毎朝の校門指導を実施し、チャイム始業を全校で徹底する。
- ③ 安心・安全な学校生活のため各種セーフティ教室を計画的に実施すると共に、生徒の心身のケアを行い、スクールカウンセラーを活用した相談機能を充実する。

(4) 特別活動・部活動

- ① 部活動の活性化や体育祭等を奨励し、日頃からの体力向上を図り、生徒会活動、行事を組織的な全校体制で支援することで主体性・自律性を育成する。

- ② 全校体制でいじめ、体罰の根絶を図る。特にSNSを通じてのいじめ未然防止に向けた継続的なアピールを校内外に行うことで相互牽制し、安心・安全な学校環境を維持していく。
- ③ オリンピック・パラリンピック教育を活用してアスリートを身近に感じ、スポーツと異文化理解への興味・関心を喚起し、国際社会に視野を向けさせる。
- ④ 体験的、実践的な防災訓練の実施による防災教育で、自助力と共助の精神を育成する。

(5) 学校経営

- ① 本校の特色を理解した意欲ある生徒を安定的に確保するため、学校案内の刷新、広報活動等を全校体制で強力に推進し、生徒募集活動を充実させる。
- ② 企画調整会議をはじめ各分掌、委員会、教科会等、主幹・主任教諭中心に全校でのタイムリーな情報共有と行動を行う。
- ③ 個人情報の管理徹底、情報通信機器利用モラルの高い活用指針に基づき、危機管理体制を充実させ、サービス事故防止徹底のための意識啓発を継続する。
- ④ 地域、中学校、大学その他の関係機関等との連携活動を充実させるとともに、施設開放、公開講座等、開かれた学校としての役割を果たす。
- ⑤ 経営企画室との連携を密に、教育活動を有効に推進する予算計画と執行管理を行うと共に施設・設備の維持を適確、安全に管理する。

2 重点目標と方策

(1) 意欲ある生徒の安定確保

他校とは異なる本校独自の特色を分かり易く提示・広報することで意欲ある生徒を確保していく。また、ホームページの頻繁なトピックス発信を行い、全校体制で説明会や出前授業、体験入学等に取り組む。

(2) 基礎学力の向上

- ① 教科会で学力スタンダードによる基礎力を明示し、確かな基礎学力を定着させる。
- ② 言語能力基礎醸成のため、読書活動を教科指導やその他で意図的・計画的に実施する。

(3) 実践的ビジネス学習の取り組み

- ① 1年「ビジネス基礎」に「東京のビジネス」を題材に取り入れ、身近なビジネス活動を実践的に学習する授業を構築する。
- ② 2年流通系選択者を中心に福井県池田町連携による「芝商いけだキャンパス交流」に取り組み、調査・研究・まとめ・プレゼンを行い、提案の実現を目指す。
- ③ 竹芝地区まちづくり協議会に参画し、継続的な地域連携による体験学習機会を推進し、生徒会や部活動、授業等で多くの生徒の参加を促す。

(4) 役立つ技術・技能の習得と検定・資格の取得

本校における商業の技能スタンダードを設置し、目的を明確に示しながら検定・資格取得を目指させる授業展開、講習設定、外部連携を推進し、積極的に取り組ませる。

(5) 帰属意識と自尊心を持った芝商生活

- ① 集団活動における規律ある態度や道徳心を持って、最大限自己パフォーマンスを発揮させるため、体育祭、文化祭、HR合宿、修学旅行等の意義を考えさせて計画・実施し、芝商生としてのプライドを持った高校生活を過ごさせる。
- ② 部活動に活発に取り組ませ、各種大会やコンテスト等への参加で、目標と自信を持たせる。

(6) キャリア教育の充実

国際ロータリークラブの協力を得て、1学年全員インターンシップを一斉に2日間実施し、実習企業を事前・事後学習で研究、紹介させることで企業を知り、職業観、勤労観を高め、早期からの進路意識向上を図る。

(7) 国際的な視野を広める

- ① 国際人としての素養育成のため、JETによる英語補助員を授業その他で有効活用し、異文化紹介の機会を設定していく。また、オリンピック・パラリンピック教育を題材に国際意識を高める。
- ② 夏季及び春季の英国研修を推奨し実施する。

(8) 連携の推進

中高連携、高大連携、地域連携等を継続、改善しながら推進する。

【29年度数値目標】

★入選応募倍率	推薦 3.0 倍 (2.71)	一般 1.20 倍 (0.94)
★進路決定 (就職・進学等希望者)	100%	
★主な検定試験合格人数		
・全商協会簿記検定 1 級	40 名	(38)
・日商簿記検定 2 級	20 名	(16)
★学校評価関係 (生徒・保護者平均)		
・入学満足状況	80%	(75.3)
・マナー指導状況	80%	(82.8)
・教員の授業改善状況	80%	(66.9)
・進路指導満足状況	80%	(77.7)

※()は前年度実績数値